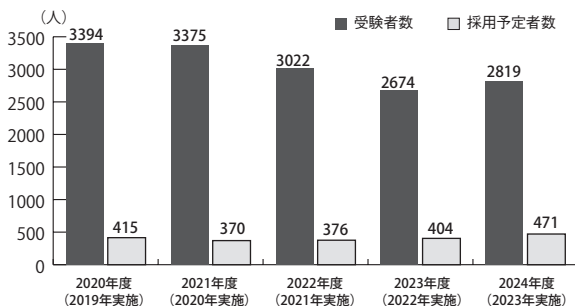


沖縄県

面積	2,282 km ²
人口	1,466,573人
県の花	デイゴ
県の木	リュウキュウマツ
県の鳥	ノグチゲラ

求める教員像	<ul style="list-style-type: none"> ● 人間性豊かで、教育者としての使命感と幼児児童生徒への教育的愛情のある教員 ● 幅広い教養と教育に関する専門的知識・技能を有し、常に学び続ける実践的指導力のある教員 ● 沖縄県の自然、歴史及び文化に誇りを持ち、多様性を受容し、グローバルな視点を兼ね備えた教員 ● 豊かなコミュニケーション能力を有し、組織力を活用できる総合的な人間力を持った教員
出願期間	公開日 2月22日(木) 電子申請 3月1日(金) 0:00~3月29日(金) 15:59 願書郵送 3月1日(金)~3月29日(金) (特定記録又は簡易書留・消印有効)
試験日程	1次試験 試験日 6月16日(日) 合格発表日 7月26日(金) 2次試験 試験日 8月24日(土)・25日(日) 合格発表日 9月下旬
年齢制限	昭和40年4月2日以降に生まれた者
募集教科	【小】 【中】国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語 【高】国語、地理歴史、公民、数学、理科(物理、化学、生物、地学)、保健体育、音楽、美術、英語、家庭、情報、農業、商業、水産、工業(機械、電気、建築、土木)、福祉 【特】(小)(中高)保健体育、音楽、美術 【養】
特記事項	<p>■特別選考 ●障がいのある者を対象とした特別選考 [中・高・特(小・中高)] 志願者対象。試験は一般選考と同じ。●スポーツ・芸術での技能や実績による特別選考 [中・高]保健体育、音楽、美術志願者で、規定の要件を満たす者は、1次を免除。2次の詳細は1次合格通知と同時期に送付。●特定の資格を有する者を対象とした特別選考 [高]水産志願者で、規定の資格及び実務経験を有する者は、1次を受験。2次の詳細は1次合格通知と同時期に送付。●沖縄県正規任用教諭経験者を対象とした特別選考 [小・中] 志願者で、沖縄県の公立小中特支学校の正規任用教諭として通算3年以上の勤務経験を有し、介護等を理由に退職した者は、1次は書類選考とし2次は一般選考とは別日程で実施(詳細は1次結果送付の際に通知)。●他都道府県正規任用教諭経験者を対象とした特別選考 [小・中] 志願者で、県外の公立小中特支学校の正規任用教諭として令和7年3月31日時点で通算5年以上の勤務経験を有し、規定の要件を満たす者は、1次は書類選考とし2次は一般選考とは別日程で実施(詳細は1次結果送付の際に通知)。</p> <p>■免除 ●沖縄県臨任等の経験を有する者を対象にした第1次試験免除(一部) 規定の要件を満たす者は、1次の教職・一般を免除。●大学等から推薦のあった者を対象にした第1次試験免除(一部) [小・中][高]工業、水産志願者で、規定の要件を満たす者は、1次の教職・一般を免除。●沖縄県臨任等の経験を有する者を対象にした第1次試験免除(全部) 前年度試験の[小・中]受験者のうち、令和6年度実施試験の「第1次試験免除対象者とする」旨の通知があった者で、規定の要件を満たす者は、1次を免除。</p>

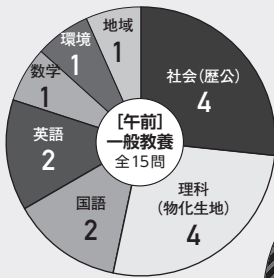
▼受験者数等推移



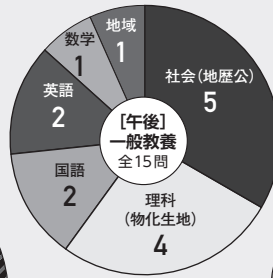
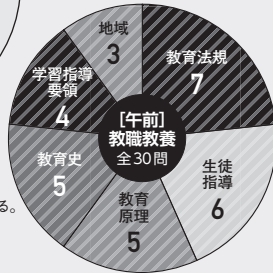
▼令和4年度 問題行動調査でのいじめの認知件数と不登校児童・生徒数

	小学校	中学校	高等学校
いじめ(件)	12,567	1,217	247
不登校(人)	2,567	3,195	1,091

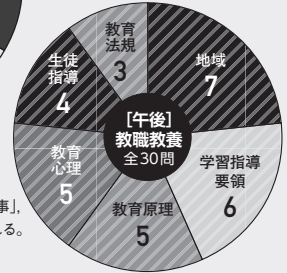
2025年度(2024年実施) 筆記試験DATA



*「地域」には「教育時事」も含まれる。



*「地域」には「教育時事」、「教育原理」も含まれる。



- ▶ 必出の「生徒指導提要」
- ▶ 教育法規は教育基本法
- ▶ 教育時事と社会科学で必出のご当地問題

〈教職教養〉では五択形式で幅広い分野から出題されており、今年度も同じような傾向であった。

学習指導要領では総則が頻出であり、今年度は「第1小学校教育の基本と教育課程の役割」が出題された。このほか、小学校学習指導要領の総合的な学習の時間や「小学校学習指導要領解説特別の教科 道徳編」、「小学校学習指導要領解説特別活動編」も出題された。

教育原理（特別支援教育、人権教育等）のうち、特別支援教育では、「障害のある子供の教育支援の手引」（2021年）や障害者基本法、障害者の権利に関する条約が出題された。人権教育では、沖縄県の人権ガイドブックである「信頼される教職員をめざして」（2023年）が出題された。

生徒指導では、「生徒指導提要」（2022年）が必出であり、今年度は「第1章 生徒指導の基礎」と「第3章 チーム学校による生徒指導体制」等に関する問題がみられた。また、「いじめの重大事態の調査に関するガイドライン」（2017年）も出題された。

教育時事では、必出である沖縄県の教育施策から「沖

縄県教育振興基本計画」（2022年）や「新・沖縄21世紀ビジョン基本計画」（2022年）等が出題された。

教育法規では、必出の教育基本法が出題されたほか、頻出の地方公務員法も出題されている。このほか、学校教育法や教育公務員特例法等も出題された。

教育心理では幅広い領域から出題されており、今年度は、ヴィゴツキー、リングルマン効果、投影法検査（SCT）等の理解を問う問題がみられた。重要な理論とその提唱者を幅広く押さえたい。

教育史では、西洋教育史（デューイ、コメニウス）と日本教育史（森有礼、足利学校）から出題された。

〈一般教養〉のうち、**人文科学**では例年、国語（漢字、敬語等）と英語（ことわざ、文章読解等）から出題されており、今年度も同様であった。**社会科学**では経済と時事以外の領域から幅広く出題された。特にご当地問題は必出であり、注意したい。**自然科学**では数学と理科全般から幅広く出題されており、今年度も同様の傾向であった。